



2026年7月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ ウ ン ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 野中雅貴
(コード番号： 197A 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 取締役 C F O 内山義雄
TEL. 055-953-9590

株式会社 PROVIGATE との資本業務提携に関する基本合意のお知らせ

株式会社タウンズ（本社：静岡県伊豆の国市、代表取締役社長：野中 雅貴、証券コード：197A、以下「当社」）と株式会社 PROVIGATE（本社：東京都文京区、代表取締役 CEO：関水 康伸、以下「PROVIGATE」）は、PROVIGATE の発行する C3 種優先株式を当社が引き受けること、並びに、在宅血糖モニタリングのサービス普及拡大を目的とした業務提携を進めることに基本合意したことをお知らせいたします。

1. PROVIGATE の在宅血糖モニタリングサービスについて

世界の糖尿病のある方とその予備群は 12 億人に上ると推計¹され、多くの人々の QOL だけでなく医療経済にも大きなインパクトを及ぼしています。「糖尿病は自己責任」「糖尿病患者の生活習慣の改善は難しい」と考えるセルフスティグマや社会的スティグマも根強く残っています。しかしながら、近年では自己血糖モニタリングを上手く活用することで、行動変容（生活習慣の改善）が誘発され、糖尿病のある方の血糖状態を改善できるといった報告が相次ぎ、科学的なコンセンサスとなりつつあります²。

糖尿病は、大きく 1 型と 2 型に分かれます。1 型はインスリンをほとんど作れなくなるため、インスリン自己注射とそれに付随した血糖自己測定が欠かせず³、いずれも保険適用されています。一方で 2 型はインスリンの効きが悪くなる（インスリン抵抗性）ものの、内在

¹ International Diabetes Federation による成人の糖尿病のある方、および予備群の推計(2024)。

² Diabetes Technology & Therapeutics. 2024;26:252-262.

³ インスリンの自己注射の単位を決めたり、インスリンの副作用による急性の低血糖を避けたりするために用いられる。インスリンは非常に強力なタンパク製剤で有り、容量を誤ると危険な低血糖に陥るリスクがある。

的なインスリンの分泌がある程度残っています。したがって、一部の重症の方を除きインスリン自己注射が不要な患者が大半であり、食事・運動・内服薬による行動変容が重要となります。裏を返せば、2型の方の大半はインスリン治療をしていないがゆえに、付随して血糖自己測定が保険適用外となっています。既存の血糖自己測定には、随時血糖を測定するSMBGと連続的に間質液糖を測定するCGMが知られていますが、いずれも個人で使うにはコストや侵襲性、データの扱いやすさに課題があるとされています。世界に5億人以上存在する2型糖尿病のある方に広く普及させるのは、厳しさを増す各国の医療財政の側面からも現実的では有りません。すなわち、糖尿病患者の大半は、数カ月一度の通院時（＝年に数回）しか血糖を知ることができないのが現実です。

PROVIGATEは、この大きな社会課題の解決に向け、行動変容を促進する最適な血糖指標として、数日から約1週間の平均血糖状態を鋭敏に反映するグリコアルブミン※（以下「GA」）に着目してきました。PROVIGATEはこれまでに、郵送検査法（常温保存可能な指頭血および冷蔵保存唾液）ならびに迅速検査法（指頭血）において、実用化レベルの検査精度を実現しており、これらの技術を基盤として、在宅で週次の血糖モニタリングを可能にするGA測定サービス「glucoreview®」を製品化しています。「glucoreview®」は、従来の断続的な血糖測定では把握が難しかった日常生活における血糖変動の変化を継続的に可視化し、利用者の行動変容を支援することを目的としています。

さらにPROVIGATEは、この在宅GA検査技術にAIアプリケーションおよび遠隔ヘルスケアサービスを組み合わせることで、糖尿病のある方および糖尿病予備群に対し、継続的なモニタリング、個別化された生活習慣改善支援の提供を通じて、有用かつ持続可能な健康管理サービスモデルの構築を目指しています。

2. 業務提携を進める狙い

業務提携を進め、PROVIGATEが開発を進めるGA測定技術と、当社のデジタルイムノアッセイ（以下「D-IA」）技術を融合し、国内外に存在する巨大な糖尿病・糖尿病予備群市場に向け、在宅血糖モニタリングPOCT***（Point of Care Testing）サービスの提供を目指します。本サービスは、糖尿病のある方およびその予備群が、自宅で簡便かつ継続的に血糖状態を把握し、効果的な行動変容につなげることを支援するものです。

中長期的には、本サービスを主に2型糖尿病の在宅血糖モニタリングにおける新たな標準モデルとして確立し、国内外での保険収載および普及拡大を目指してまいります。

3. 基本合意先の概要

(1) 名称	株式会社 PROVIGATE
(2) 所在地	東京都文京区向丘 2 丁目 3-10 東大前 HiRAKU GATE 5F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 関水 康伸
(4) 事業内容	家庭用血糖モニタリングデバイスおよびアプリの開発
(5) 設立年月	2015 年 3 月 6 日
(6) コーポレートサイト	https://provigate.com/

4. 両社コメント

株式会社タウンズ代表取締役社長野中雅貴コメント

当社は中期経営計画において、慢性疾患領域への進出を重要な成長戦略の一つに掲げております。その中でも、世界的に患者数が多く、また血糖モニタリングの重要性が高い糖尿病を重点領域と位置付けております。

このたび、PROVIGATE 様との資本業務提携に関する基本合意により、PROVIGATE 様が開発を進める GA 測定技術と、当社の次世代 POCT 技術である D-IA を融合させ、新たな在宅血糖モニタリング POCT の開発を進めることとなりました。糖尿病のある方の行動変容支援という社会的意義の大きい領域において、当社として積極的に役割を果たしてまいります。

今後、PROVIGATE 様の先進的なアイデア、技術とともに、当社のコーポレートスローガン「診断技術で、安心な毎日を。」実現し、世界に貢献してまいりたいと思います。

株式会社 PROVIGATE 代表取締役 CEO 関水康伸コメント

これまで、世界的に多くのスタートアップが先端的な技術を活用し、血糖モニタリングの課題解決に挑戦してきました。しかしながら、革新的なサービスはそうそう簡単には生まれません。その大きなハードルの一つは「モノづくり」の土台の弱さにあります。この度、POCT のリーディングカンパニーであり、日本のモノづくりの強さを体現するタウンズ様と資本業務提携に関する基本合意を結ばせていただくことを大変嬉しく思っております。PROVIGATE がこれまで広げてきたオープンイノベーションの取り組みをここに結実し、世界の公衆衛生に資する事業を一日も早く実現したいと考えています。

5. 今後の見通し

現時点で、本基本合意が当社の当面の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、重要な影響を与えることが判明した場合には速やかに開示します。

6. その他

本基本合意の詳細については、当事者間の合意により一部非開示としております。

以 上

※グリコアルブミン(GA)

血液中のアルブミン（タンパク質）にブドウ糖（グルコース）が結合した割合を示す血糖指標です。血糖値が高い状態が続くほど、GA の値は高くなります。過去数日から 1 週間程度の平均血糖状態を反映する血液マーカーであり、生活習慣の改善効果を早期に確認できることから、行動変容を促す指標として注目されています。

※※POCT（Point of Care Testing）

患者のそば（Point of Care）で迅速に実施し、その場で結果を得られる検査のことです。